

令和8年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

中学校（国語）

受験番号
中国語
氏 名

注 意 事 項

- 一 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 二 問題は、一ページから七ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 三 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 四 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置いてください。
- 五 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 六 この問題用紙は、持ち帰ってください。

一 第二学年において、「よりよいコミュニケーション」というテーマで複数の文章を比較しながら読み、自分の考えをまとめる学習を展開するために、次の【Ⅰ】、【Ⅱ】の文章を教材として用意した。後の〔問一〕～〔問五〕に答えなさい。

【Ⅰ】

【Ⅱ】



〔問一〕 〔Ⅱ〕——線 a について、次の (一)、(二)の問いに答えなさい。

(一)——線 a と同じ意味で「ヨウセイ」が用いられている文を、次のア、イ、エから一つ選び、記号で書きなさい。

ア 夜の森を歩いていると、小さな光がヨウセイのように舞い上がった。

イ 彼は検査結果でヨウセイ反応が出て、すぐに自宅で隔離されることになった。

ウ 市民団体からのヨウセイに応じて、政府は緊急支援を提供することを決定した。

エ この学校では、プロの料理人をヨウセイするための厳しいカリキュラムが組まれている。

(二) (一)の「ヨウセイ」のような、発音が同じで意味が異なる言葉を何というか、漢字で書きなさい。

〔問二〕 〔Ⅱ〕——線 b、c について、カタカナを漢字に直して楷書で書きなさい。

〔問三〕 〔Ⅱ〕 空欄 A に当てはまる最も適切な言葉を、次のア、イ、エから一つ選び、記号で書きなさい。

ア つまり	イ けれども	ウ では	エ さらに	オ また
-------	--------	------	-------	------

〔問四〕 教師は、〔Ⅰ〕、〔Ⅱ〕の文章について、観点を明確にして文章を比較する活動を設定した。このことについて、次の (一)～(三)の問いに答えなさい。

(一) 「文章の構成」という観点で〔Ⅰ〕、〔Ⅱ〕の文章を比較した。それぞれの文章の構成とその効果を説明したものとして最も適切なものを、次のア、イ、エから一つずつ選び、記号で書きなさい。

ア 最初と最後の両方で主張を繰り返すことで、効果的に読者に行動変容を呼びかけている。

イ 筆者の実体験をもとに問題提起することで、簡潔で分かりやすくなっている。

ウ 一般的な認識に対して逆説的に考えを述べることで、筆者の主張が強調されている。

エ 複数の資料を基に筆者の主張に関連する言葉を引用することで、説得力を高めている。

オ 具体例から見いだした問題の原因と解決策を示すことで、読者の共感を得やすくしている。

(二) 「筆者の主張」という観点で〔Ⅰ〕、〔Ⅱ〕の文章の内容を整理した。それぞれの筆者が、「話を聴く(聞く)際に大切と考えていること」を、目的を明らかにして、それぞれ四十文字以上五十文字以内でまとめなさい。

(三) 文章を比較して読む際に、(一)、(二)のように観点を明確にした教師の意図を書きなさい。ただし、「中学校学習指導要領(平成二十九年告示)解説 国語編(C読むことエ)」の内容を踏まえること。

〔問五〕 本単元では、二つの文章を比較して読んだ生徒が、「よりよいコミュニケーション」というテーマで考えをまとめる活動を行う。このことについて、次の (一)、(二)の問いに答えなさい。ただし、いずれも「中学校学習指導要領(平成二十九年告示)解説 国語編(C読むことオ)」の内容を踏まえること。

(一) 生徒がまとめた文章を評価する際に、教師が用いる評価の観点を書きなさい。

(二) 本単元の学習の効果をさらに高められるよう、生徒が考えを文章にまとめた後に行うとよい活動について、活動の目的を具体的に示しながら説明しなさい。

二 第三学年の和歌の学習において、気に入った和歌を紹介したり、毛筆で作品を書いたりする活動を設定した。【和歌】A、B、Cは、気に入った春の和歌として、生徒がそれぞれ選んだものである。A、B、Cの三首の和歌を読み、後の「問二」～「問三」に答えなさい。

【和歌】

〔問二〕 Aについて、次の（一）、（二）の問いに答えなさい。

（一） 線①を、現代仮名遣いにして、全て平仮名で書きなさい。

（二） Aは、『枕草子』の「春はあけぼの」の段を意識してよまれたと考えることもできる。そのことを踏まえ、春の歌であることが分かるように言葉を補いながら、——線①を現代語訳しなさい。

〔問三〕 次は、Bを選んだ生徒が書いた紹介文の一部である。後の（一）、（二）の問いに答えなさい。

この和歌は、前半部分では花を散らせる比良の山風が吹いたことをよんでいます。私は、^②「花さそふ」という表現が気に入りました。また、後半は、「漕ぎゆく舟の跡見ゆるま」で」という表現により、湖上二面の花びらの中を舟が進んでいることがわかります。たくさんさんの花びらが湖面に浮かんでいることが美しく伝わるところが魅力的です。

（一） 線②について、使われている表現技法を次のア～エから一つ選び、記号で書きなさい。また、Bにおける、その表現技法の効果について説明しなさい。

ア 反復法	イ 倒置法	ウ 体言止め	エ 擬人法
-------	-------	--------	-------

（二） 教師は、紹介文を書いた生徒に、さらに解釈が深まることを期待して、次の本歌を紹介した。教師が意図した解釈の深まりを、具体的に説明しなさい。

〔問三〕 次は、Cを行書体で書いた生徒の作品である。和歌のような、漢字と仮名が交じった行書作品において、仮名部分を書く際に生徒が理解しておくべきことについて、「中学校学習指導要領（平成二十九年告示）解説 国語編」の内容を踏まえ、書きなさい。

三 第一学年「書くこと」の学習を、総合的な学習の時間の単元「群馬市の魅力再発見！」と関連付け、学習発表会の案内文を書く活動を設定した。【Ⅰ】は、教師が作成した学習指導案の一部、【Ⅱ】は、教師と生徒が共に作成した学習計画、【Ⅲ】は、生徒が作成した案内文である。後の〔問二〕～〔問四〕に答えなさい。

【Ⅰ】

1 単元の目標及び生徒の実態
(略)

2 評価規準

知識・ 技能	比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。
思考・ 判断・ 表現	「書くこと」において、目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 (B(1)ア)
主体的に 学習に取り 組む態度	集めた情報を進んで整理し、学習課題に沿って案内文を書こうとしている。

3 指導及び評価の計画
(略)

【Ⅱ】

《学習計画》

①単元の課題を設定する。

②案内文に書く材料を集め、書く内容を決める。

③案内文を書く。

④書いた案内文を修正する。

⑤単元の学習を振り返る。

【Ⅲ】

令和8年1月〇日

保護者 様

群馬市立ぐんま中学校
学習発表会実行委員会

総合的な学習の時間「群馬市の魅力再発見！」
学習発表会のご案内

寒い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、1年生はこれまで総合的な学習の時間に「群馬市の魅力再発見！」という学習を進めてきました。その成果を発表する場として、下記のとおり学習発表会を行います。ぜひお越しください。

記

1. 日 時 令和8年2月〇日(〇) 13時30分～15時10分

2. 場 所 ぐんま中学校体育館

3. 日 程 ①13:30 開会
②13:40～ 発表
(14:50～ 休憩)
③15:00～ 講評
④15:10 閉会

4. その他 駐車場はありませんので、徒歩または公共の交通機関を利用して来ていただき、1年生の玄関で、13時20分までに受付をしていただきます。時間に間に合うようにお越しください。受付後、玄関で上履きに履き替えていただいたら、体育館まで移動していただきます。トイレは、体育館のトイレを使うことができますが、混雑が予想されますので、余裕をもってお越しください。また、体育館は寒いので、暖かい格好をしてお越しください。

以上

〔問一〕 授業者である教師が、単元の課題について、次の（案１）のように計画していたところ、先輩教師から、（案２）のような提案を受けた。このように提案した先輩教師の意図を書きなさい。

（案１）

学習発表会の案内文を書こう



（案２）

相手に応じ、伝えるべき内容を整理して、
学習発表会の案内文を書こう

〔問二〕 教師は本単元の活動を、総合的な学習の時間と関連付けて設定している。そのよさについて主体的な学びの観点から書きなさい。

〔問三〕 教師は、単元の導入の場面で、複数の案内文やポスター、チラシ等を資料として提示し、比較する活動を行った。その活動の効果について書きなさい。

〔問四〕 【Ⅱ】④では、「相手に合わせて、案内文を分かりやすく修正しよう」というめあてを立てて授業を行った。このことについて、次の（一）（二）（三）の問いに答えなさい。

（一） 【Ⅱ】③の授業の後、【Ⅲ】について、教師は「４．その他」の部分を修正する必要があると考えた。「４．その他」の部分の具体的な改善方法を、【Ⅰ】の評価規準を踏まえて書きなさい。

（二） 生徒たちが【Ⅱ】④の授業において、自ら「４．その他」の改善方法を見いだせるよう、教師が設定するとよい活動について書きなさい。

（三） 次の【生徒の振り返り】は、【Ⅱ】④の学習の過程で、ある生徒が記述したものである。引き続き案内文の修正を行う際、この生徒に身に付けさせたい資質・能力を高めるには、どのような声かけを行うとよいか、【生徒の振り返り】の内容を踏まえて説明しなさい。

【生徒の振り返り】

漢字の間違いがたくさんあったので、修正できてよかったです。また、学校までの地図はいらないと思います。今回は、発表内容や持ち物などの情報を書き足して、案内文を完成させたいです。

四 第三学年の学習において、調べた故事成語を用いて、自らの体験を文章に表す活動を設定した。【故事】は、ある生徒が調べた故事の一部である。【故事】を読み、後の〔問一〕～〔問五〕に答えなさい。

【故事】

〔問一〕 線①を書き下し文にしない。なお、「將」は「将」と書いてよい。

〔問二〕 猿飼いの男が——線②「恐衆狙之不馴於己也」と考えた理由を書きなさい。

〔問三〕 次は、故事成語「朝三暮四」についてのまとめである。A、Bに当てはまる言葉を書きなさい。ただし、Aには故事の状況を、Bには「朝三暮四」の意味を入れること。

B	A
こと。	猿たちのように、

〔問四〕 次の i ～ iv は、生徒たちが調べた故事成語である。これらの故事成語を用いて自らの体験を文章に表すにあたり適切なものを、後のア～エからそれぞれ選び、記号で書きなさい。

i 温故知新

ii 馬耳東風

iii 画蛇添足

iv 臥薪嘗胆

ア 生徒会の活動中、先輩たちが学校をどれほど支えてきたかを知り、生徒会に誇りを感じるようになった。今は、過去の取組を参考にして、自分たちの活動に生かしている。
イ 美術部で思うように絵画作品が描けず、成果が出なかったが、諦めずに描き続け、最後にはコンクールでよい成績を収めることができた。描き続けることの大切さを実感した。
ウ テスト前、友達や先生に「計画的に勉強をした方がいいよ」というアドバイスを受けたにもかかわらず、直前に慌てて勉強を開始した。時間が足りず結果は散々だった。
エ 友達の誕生日に手作りカードをプレゼントすることにした。初めのうちはシンプルなデザインでよいものができそうだったが、作っているうちに飾りを付けすぎてしまった。

〔問五〕 調べた故事成語を用いて、自らの体験を文章に表す活動を行う意義について、「中学校学習指導要領（平成二十九年告示）解説 国語編」を踏まえて書きなさい。

問		問		問	
			効果	表現技法	

[illegible]

国語 解答用紙	2 枚 中 の 1	受験番号	中国語	氏 名
(8 年)				

(8年)

※欄には記入
しないこと

国語	解答用紙	2枚中の1	受験番号	中国語	氏名
----	------	-------	------	-----	----

(8年)

以下はあくまでも解答の一例です

二		一	
(問二)	(問一)	(問二)	(問一)
漢字の行書に調和するように、筆脈の連続や運筆のリズムを意識して書くこと。点画を連続させたり、点画を省略したりといった行書の特徴に調和するように書くこと。 等	(二)	(二)	(二)
	表現技法 エ 5点	効果 山風が花を散らせる様子を生き生きと表現することができる。 等	ウ 4点
36点	8点	8点	5点
二		一	
(二)	(二)	(二)	(二)
ゆうべはあきとなにもいけん 春の夕べもこんなに素晴らしいのに、夕べの眺めは秋がすばらしいと、どうして思っていたのであらうか。 等	6点	同音異義語 4点	ウ 4点
4点	6点	4点	5点
二		一	
(二)	(二)	(二)	(二)
様々な考えに触れ、自分の考えが広がるよう、生徒同士でまとめた文章を読み合う活動を行う。 等	8点	観点を明確にすることで、文章を読む際に注目する部分を絞り込むことができ、それぞれの文章の構成や論理の展開、表現の効果の特徴について比較しやすくなる。 等	8点
69点	8点	8点	8点
二		一	
(二)	(二)	(二)	(二)
文章を読み、「コミュニケーション」や「聴く(聞く)」ということについて解釈した内容と、自分の知識や経験とを結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしているか。 等	8点	文章を読み、「コミュニケーション」や「聴く(聞く)」ということについて解釈した内容と、自分の知識や経験とを結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしているか。 等	8点
40	40	40	40

国語	解答题用紙	2枚中の2	受験番号	中国語	氏名
----	-------	-------	------	-----	----

(8年)

以下はあくまでも解答の一例です

三			四		
問一	問二	問三	問四	問五	問六
生徒が言語活動を把握するとともに、身に付ける資質・能力を意識しながら学習に取り組めるような課題に修正すること。等	実際に案内文を書いて相手に伝える場面があるため、生徒が必要感を持って学習に取り組むことができる。等	複数の資料を比較することで、必要な情報や情報の整理の仕方についてイメージを持つとともに、案内文を作成する際の手掛かりにすることができる。等	伝えたいことを明確に示せるように、学習発表会に来てもらう相手に必要な情報を、内容ごとに箇条書きで示す。等	単元の導入で提示した資料を改めて見直し、作成した案内文と比較する活動。作成した案内文を読み合い、「相手意識」や「整理の仕方」という視点でアドバイスし合う活動。等	振り返りの記述には、相手意識が感じられないため、学校までの地図を削った理由や、発表内容や持ち物などの情報を書き足す理由を問いかける。等
8点	8点	8点	8点	8点	8点
三			四		
問一	問二	問三	問四	問五	問六
将(將)に其の食を限らんとす	猿たちの餌を減らそうとしたから。等	与えられるとんぐりが、朝に三つ、夜に四つだと怒り、朝に四つ、夜に三つだと喜ぶ。等	目先の利益にとらわれて、本質的な違いに気付かない。等	言葉の意味の理解にとどまらず、実際に文章の中で使うことで、古典に親しむ態度を育てることにつながる。等	
5点	6点	6点	6点	8点	47点